

令和6年度 栃木県こどもモニター
第2回アンケート結果
(高校生～22才)

調査実施の概要

1. 栃木県こどもモニターってなに

栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えよう！

2. 第2回アンケート期間

令和6年8月21日（水曜日）から9月20日（金曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答 URL を送付、WEB サイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

185名

5. 第2回アンケート回答者数

108名

6. 第2回アンケート回答率

58.4%

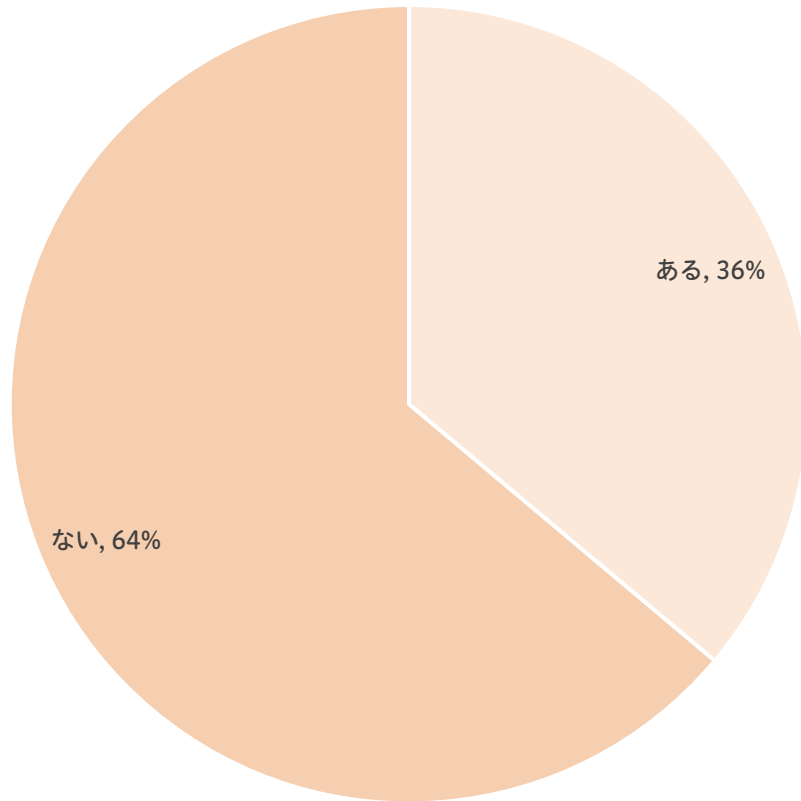
※「その他」を選択した場合の自由記述欄は原文のまま掲載しています。

性別	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
男性	50	30	27.8%	60.0%
女性	133	78	72.2%	58.6%
その他	2	0	0.0%	0.0%
合計	185	108	-	58.4%

学年	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
高校1年生	27	22	20.4%	81.5%
高校2年生	94	42	38.9%	44.7%
高校3年生	12	10	9.3%	83.3%
16才	2	0	0.0%	0.0%
17才	2	0	0.0%	0.0%
18才	5	3	2.8%	60.0%
19才	11	9	8.3%	81.8%
20才	17	10	9.3%	58.8%
21才	13	10	9.3%	76.9%
22才	2	2	1.9%	100.0%
合計	185	108	-	58.4%

※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したものになります。
そのため、合計が100.0%にならないものがあります。

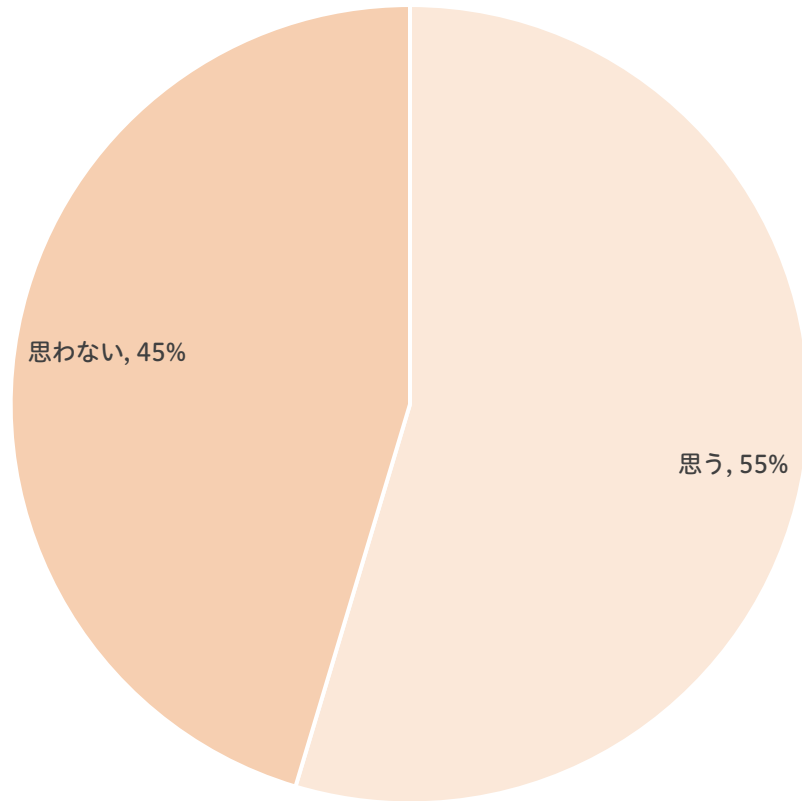
Q1.河川や池、湖での釣りをしたことがありますか。



【調査結果の概要】

「ない」(64%)、「ある」(36%)と、したことがない人の方が多い。

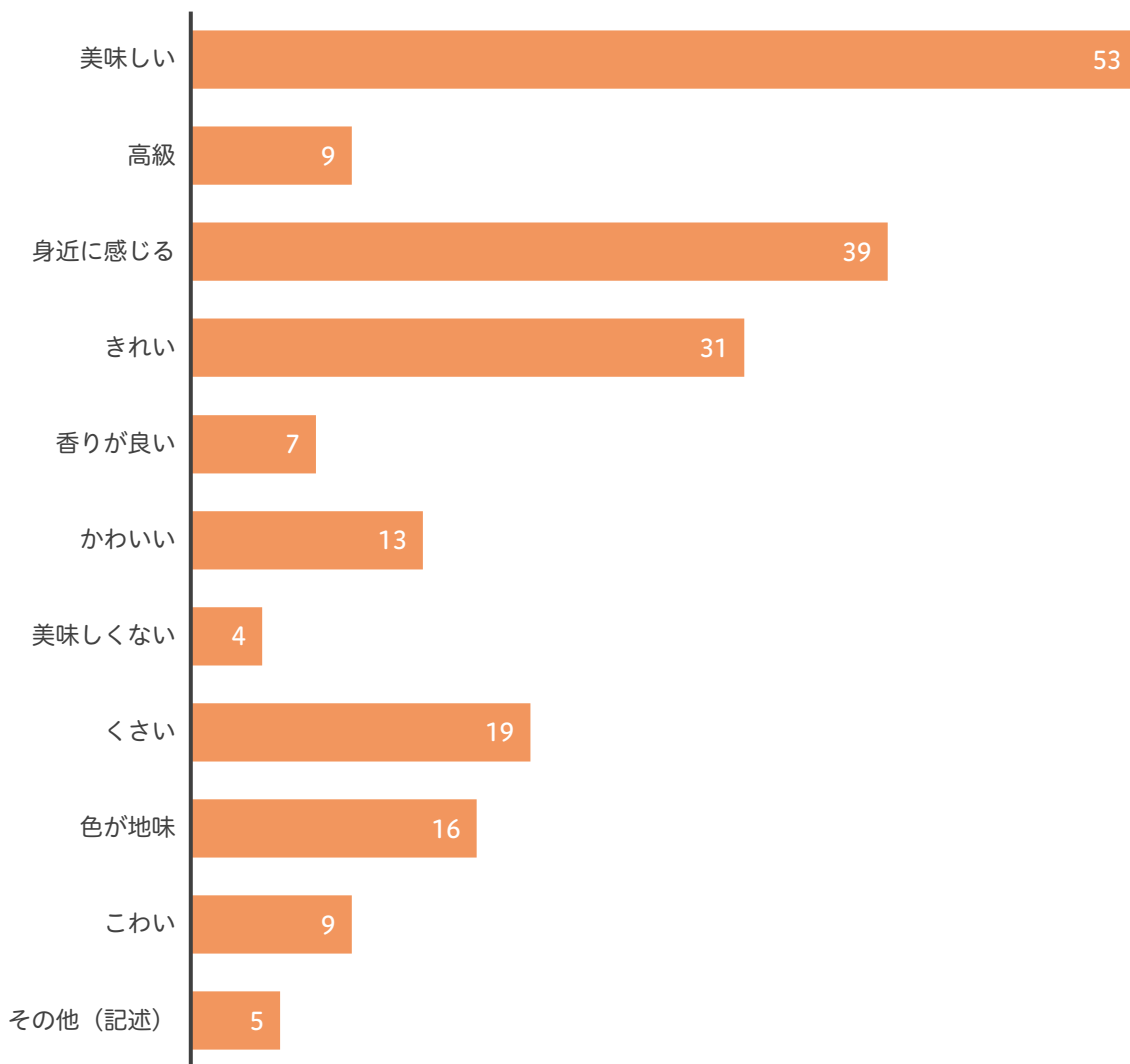
Q2.河川や池、湖での釣りをしてみたいと思いますか。



【調査結果の概要】

「思う」(55%)、「思わない」(45%)となっていて、してみたい人がわずかに上回っている。

Q3.あなたの淡水魚に対するイメージを教えてください。【3つまで選んでください】



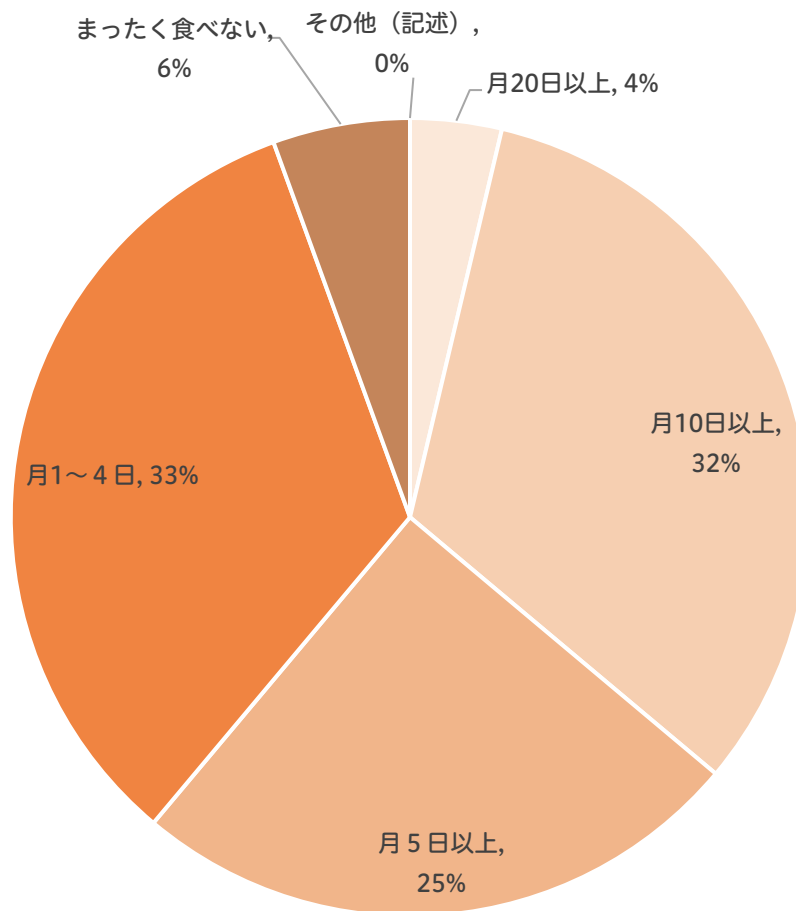
【調査結果の概要】

「美味しい」(53件)が最も多く、以下、「身近に感じる」(39件)、「きれい」(31件)などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 川にいる
- ・ わからない、考えたことがないなど 4件

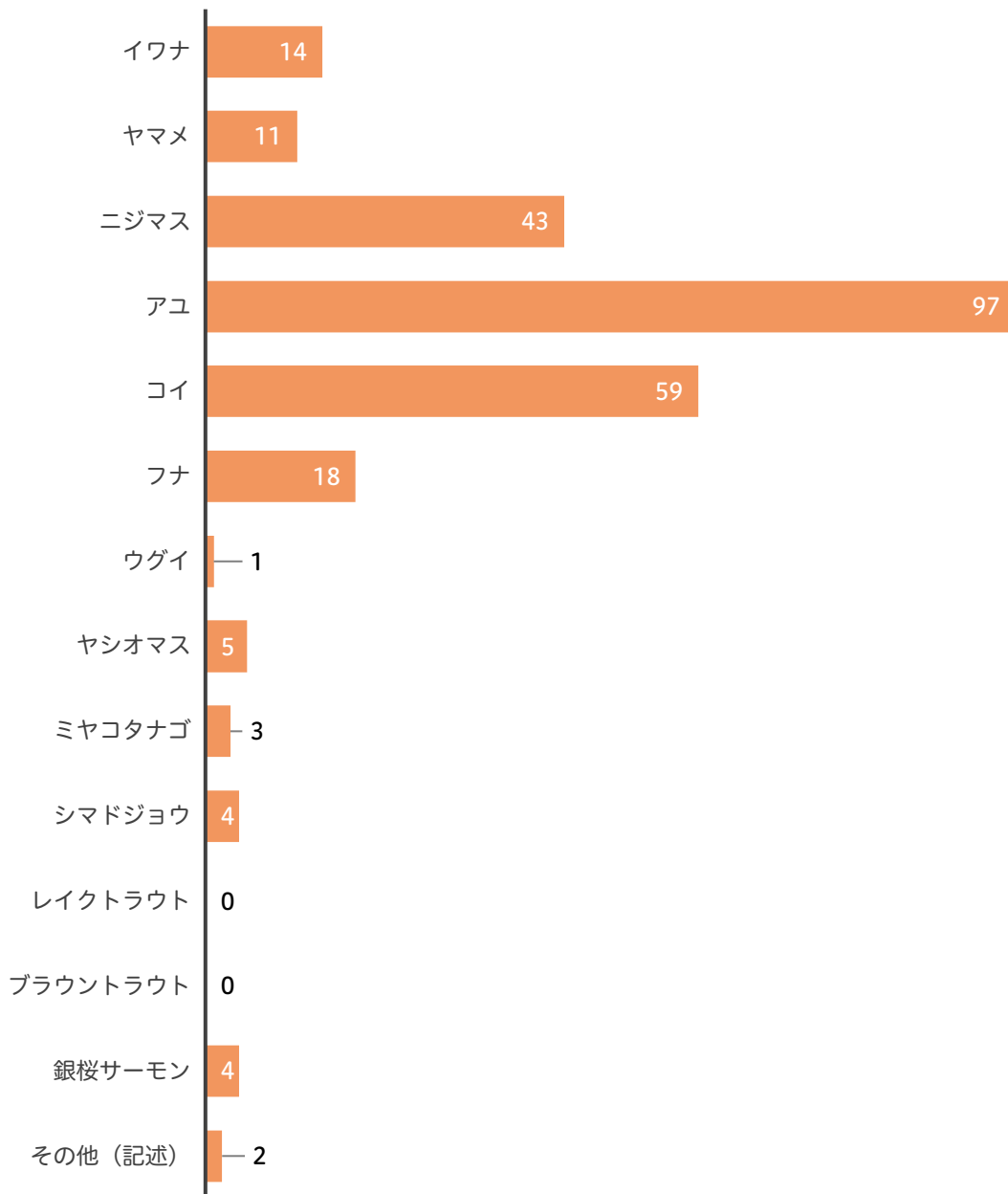
Q4.魚を月に何回食べますか。



【調査結果の概要】

「月1~4日」(33%)が最も多く、以下、「月に10日以上」(32%)、「月5日以上」(32%)と続いている。

Q5.河川や池、湖の魚の中で身近に感じる魚はどれですか。【3つまで選んでください】



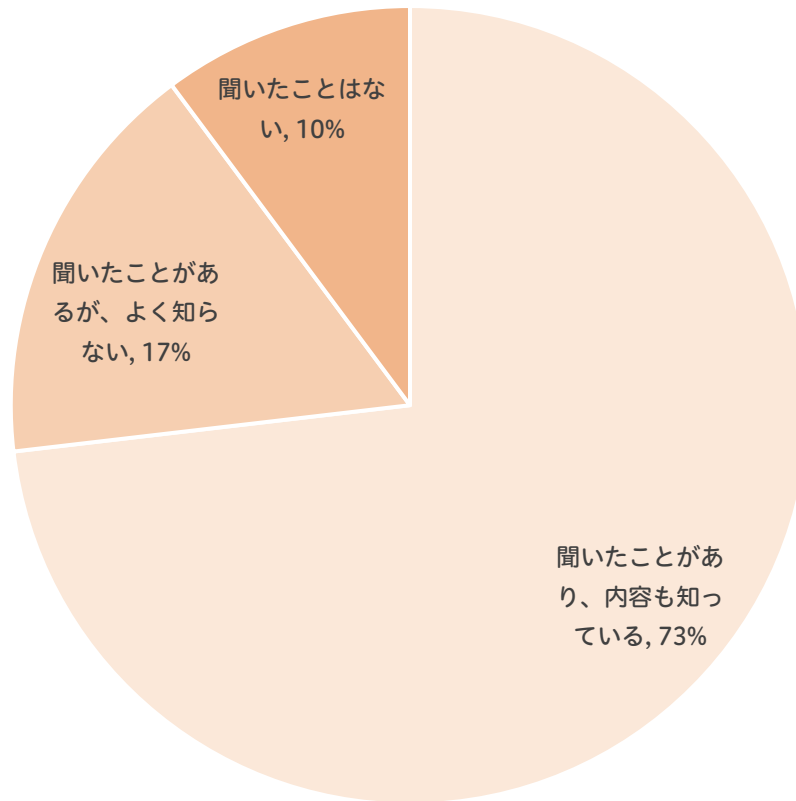
【調査結果の概要】

「アユ」(97件)が最も多く、以下、「コイ」(59件)、「ニジマス」(43件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ ブラックバス
- ・ わからない

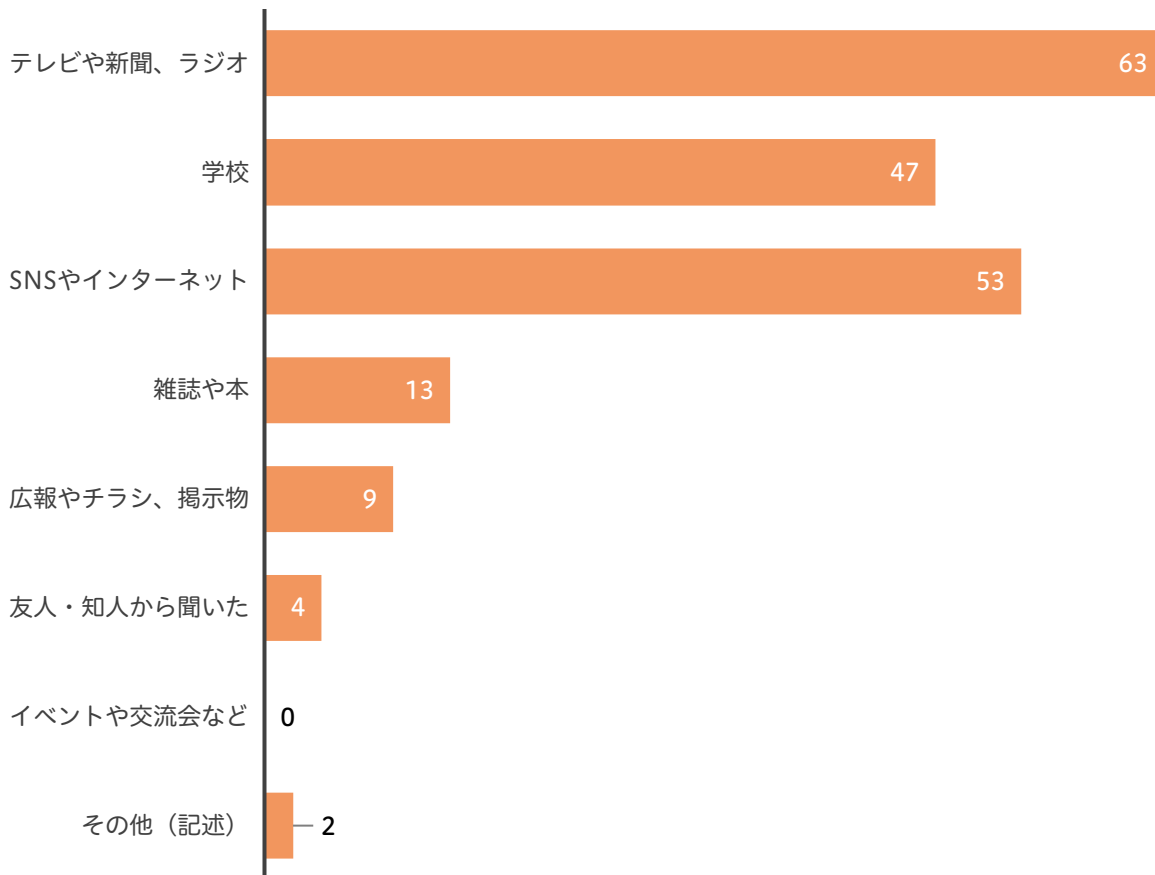
Q6. 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。



【調査結果の概要】

「聞いたことがあり、内容も知っている」(73%)が最も多く、以下、「聞いたことがあるが、よく知らない」(17%)、「聞いたことはない」(10%)と続いている。

Q7.「Q6」で、「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

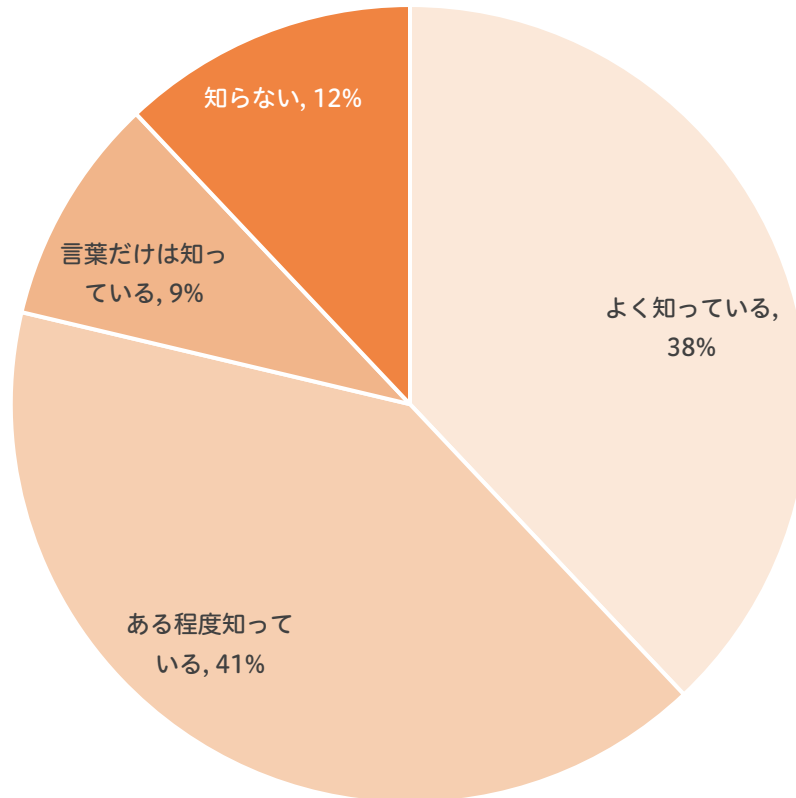
「テレビや新聞、ラジオ」(63件)が最も多く、以下、「SNSやインターネット」(53件)、「学校」(47件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 親
- ・ 職場

Q8.市販薬のオーバードーズ（過剰摂取）を知っていますか。

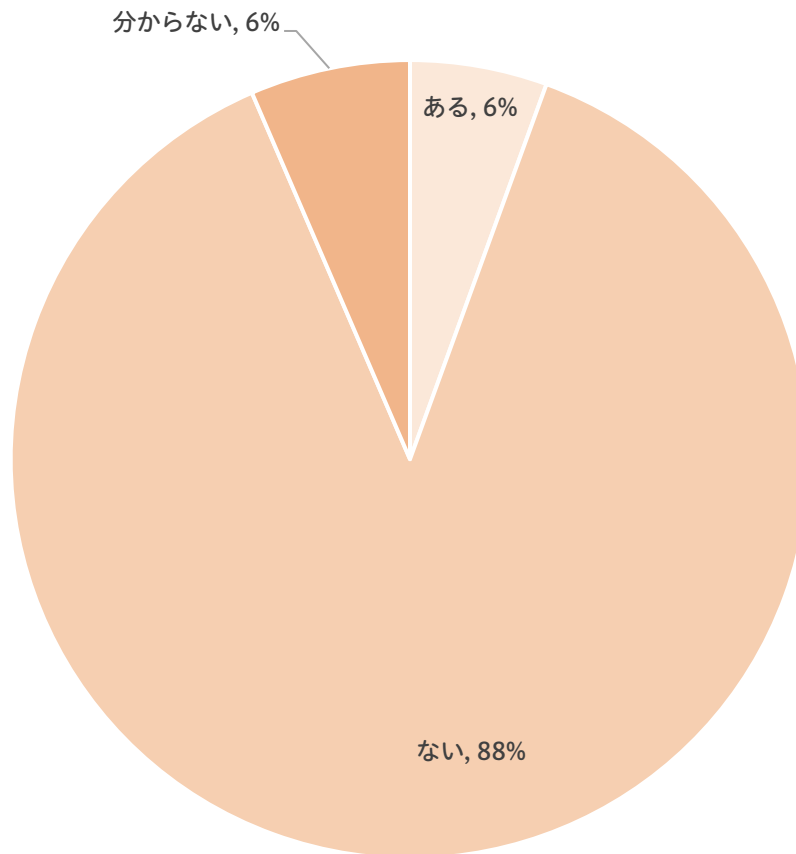
※市販薬：薬局やドラッグストアで購入できるかぜ薬やせき止め薬など



【調査結果の概要】

「ある程度知っている」(41%)が最も多く、以下、「よく知っている」(38%)、「知らない」(12%)と続いている。

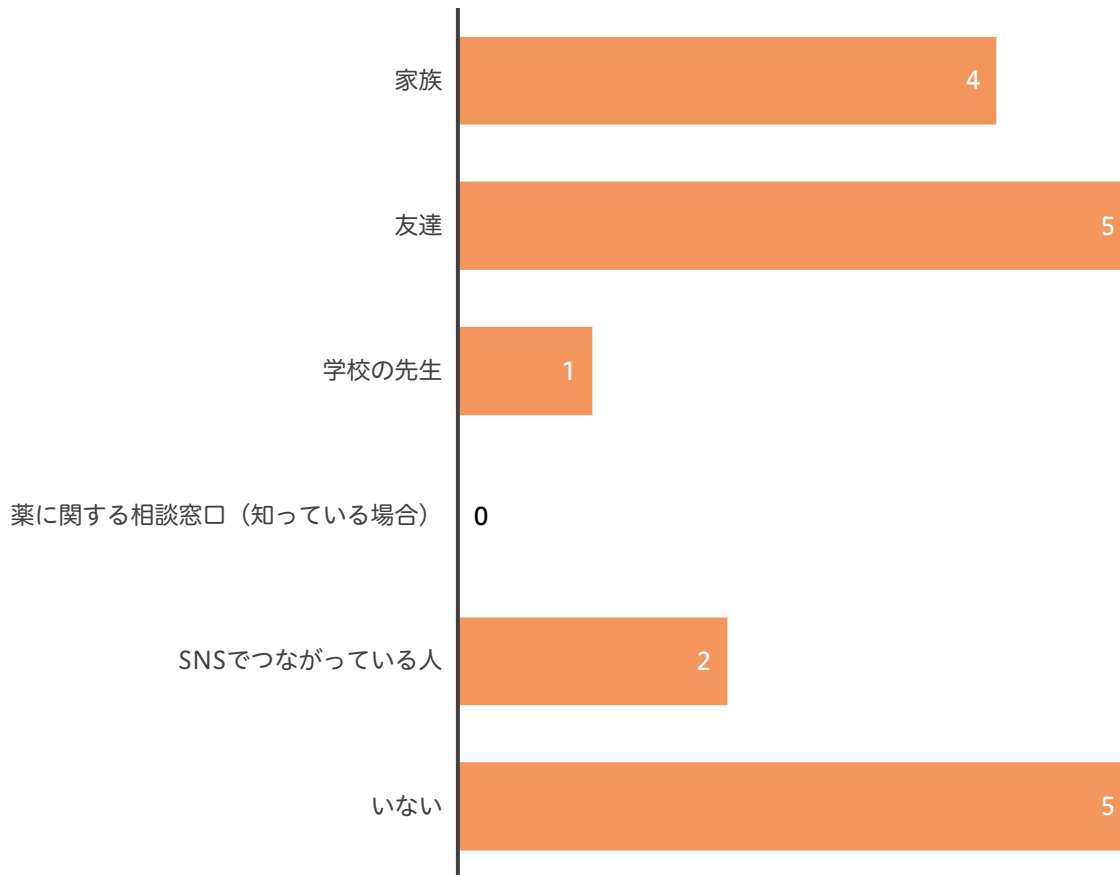
Q9.つらい気持ちや、嫌なことがあったり、なんだかもやもやしている時に、市販薬のオーバードーズ（過剰摂取）をしたいと思ったことはありますか。



【調査結果の概要】

「ない」(88%)が最も多く、以下、「ある」(6%)、「分からない」(6%)と続いている。

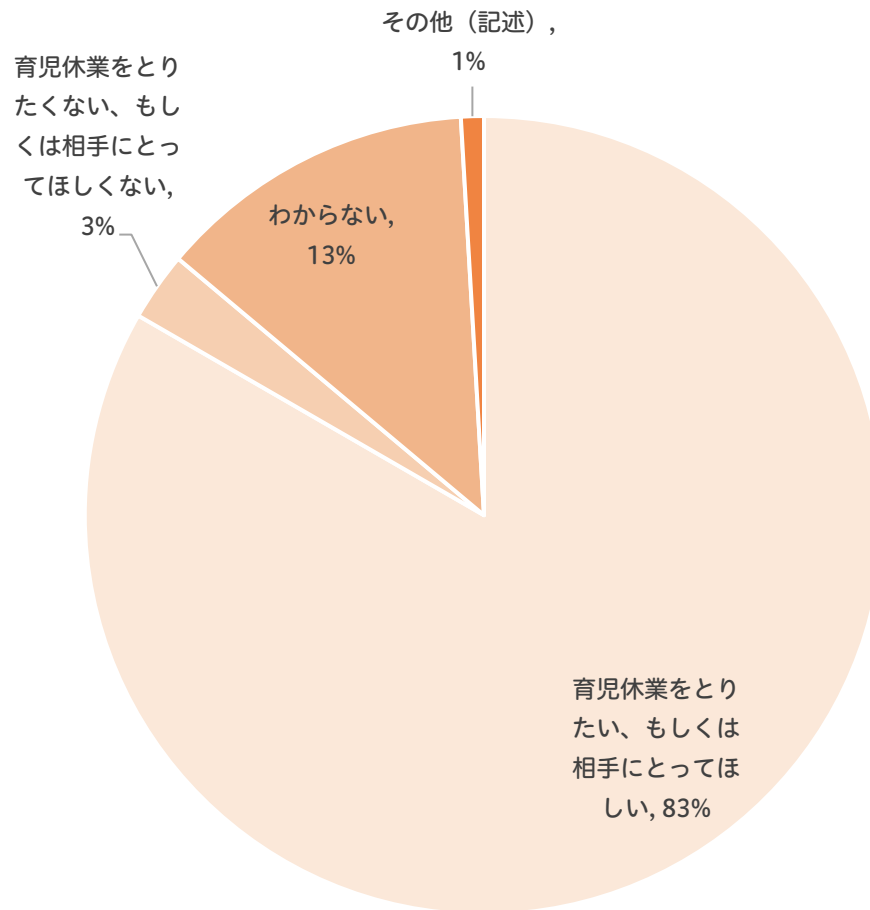
Q10. 「Q9」で、「ある」と回答した方にお聞きします。市販薬のオーバードーズ（過剰摂取）をしたいと思った時に、あなたが相談できる相手を選んでください。【3つまで選んでください】



【調査結果の概要】

「友達」（5件）、「いない」（5件）が多く、「家族」（4件）と続いている。

Q11. 将来自分に子どもができたとき、男性（自分もしくは結婚相手（パートナー））が仕事を休んで育児をすること（育児休業の取得）について、今の考えに近いものはどれですか。



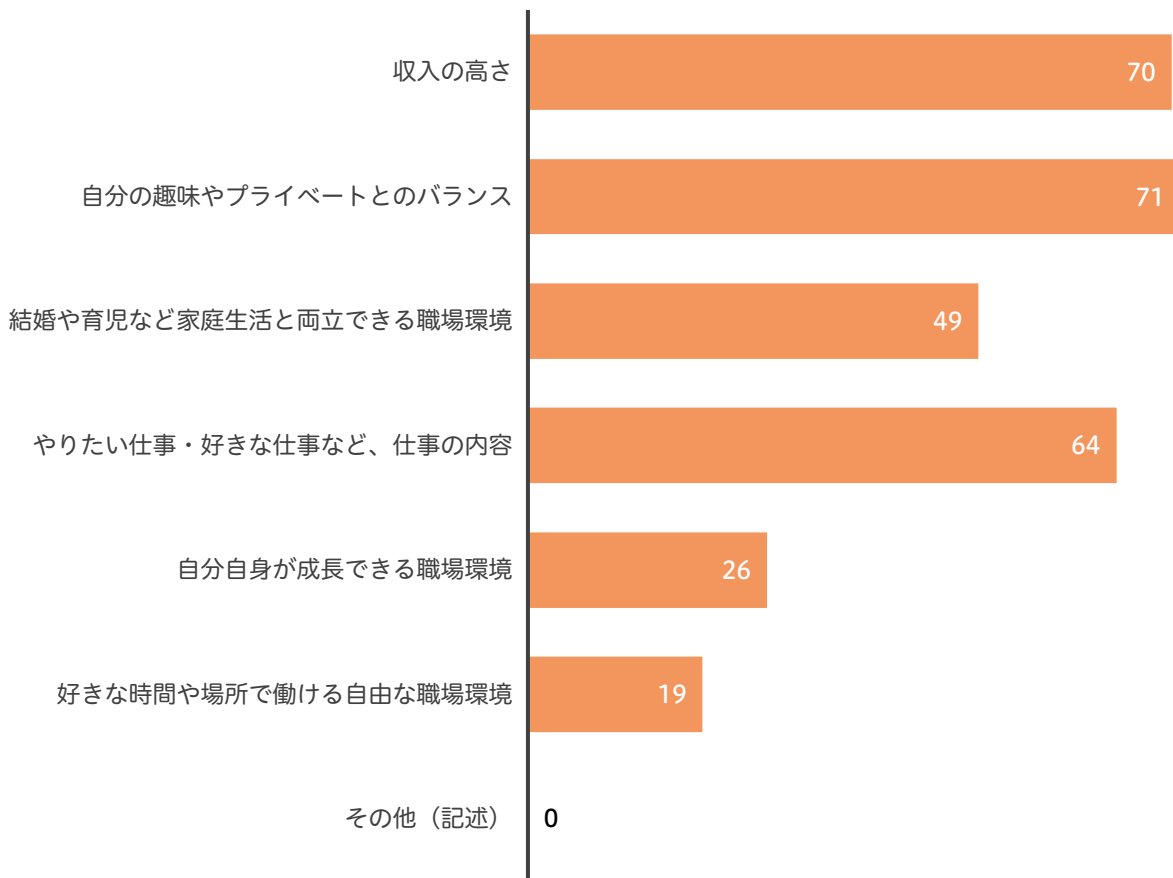
【調査結果の概要】

「育児休業をとりたい、もしくは相手にとってほしい」(83%)が最も多く、以下、「わからない」(13%)、「育児休業をとりたくない、もしくは相手にとってほしくない」(3%)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 将来自分に子供を持つ未来が見えない

Q12.仕事を選ぶうえで大切にしたいものはなんですか。【3つまで選んでください】



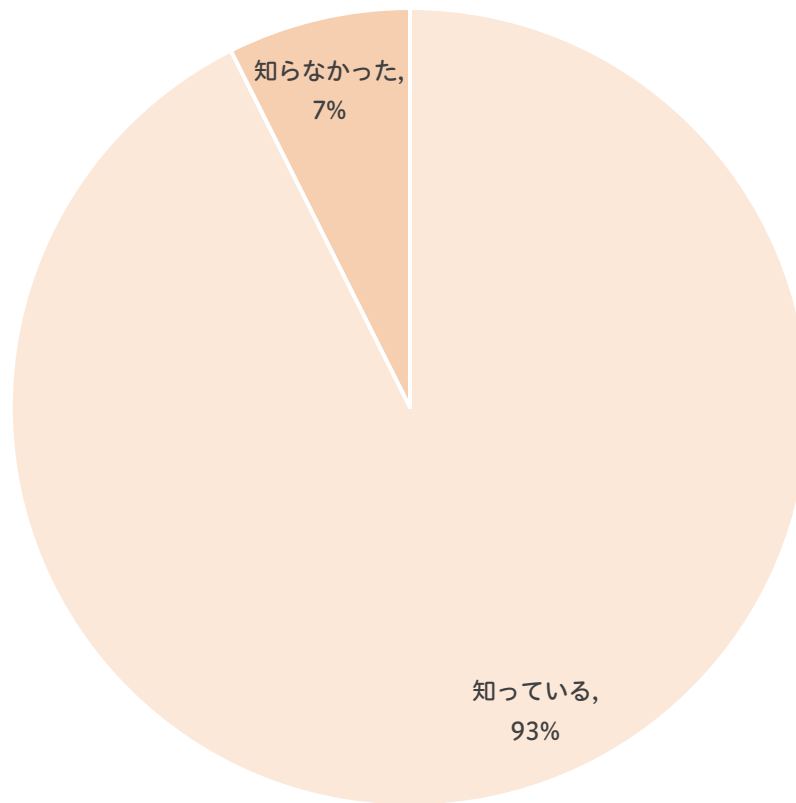
【調査結果の概要】

「自分の趣味やプライベートとのバランス」(71件)が最も多く、以下、「収入の高さ」(70%)、「やりたい仕事・好きな仕事など、仕事の内容」(64件)と続いている。

【その他の自由記述】

- なし

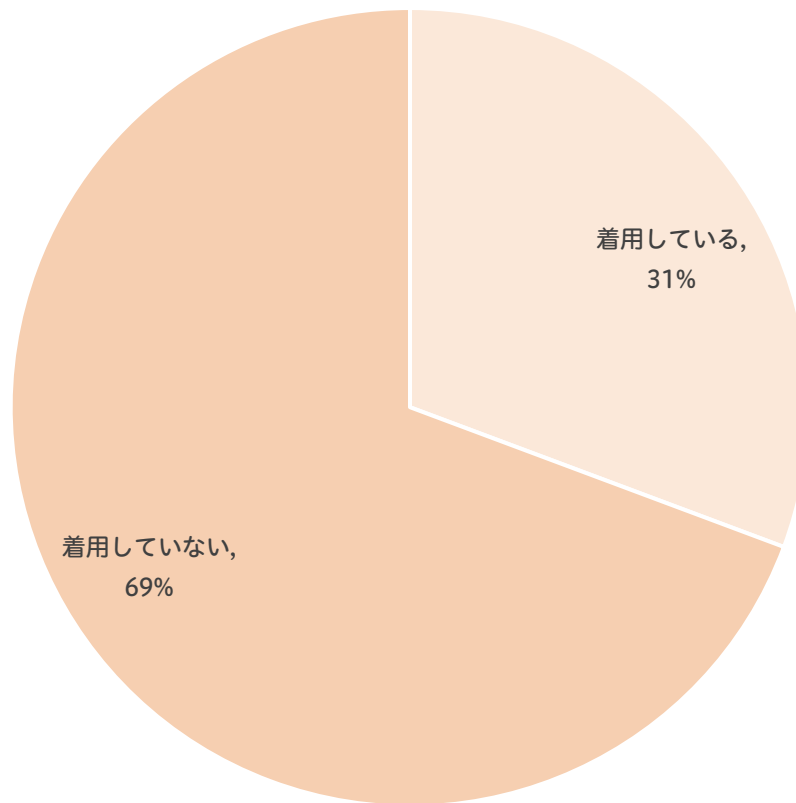
Q13.道路交通法や栃木県の条例で自転車を運転する場合は、ヘルメット着用に努めるよう規定されていることは知っていますか。



【調査結果の概要】

「知っている」(93%)と、ヘルメット着用に努めるよう規定されていることを知っている人は、90%を超えている。

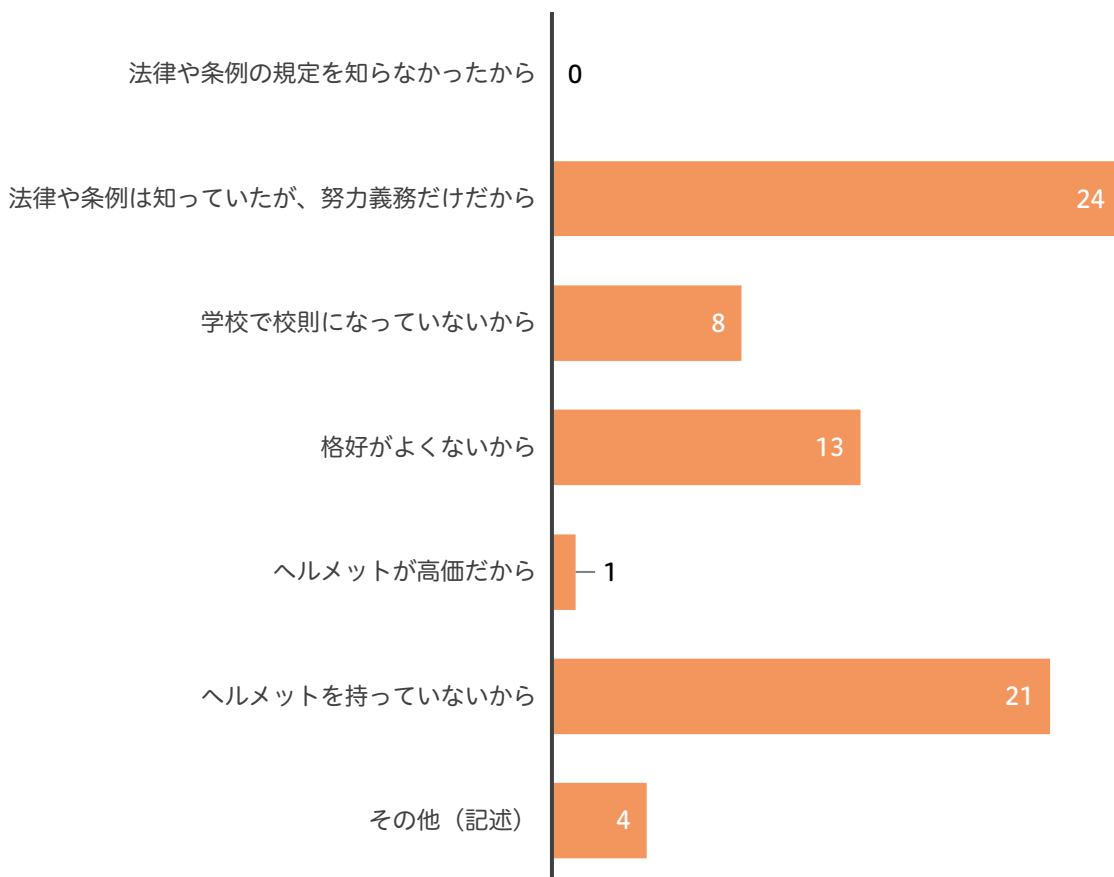
Q14.自転車を利用している方に質問です。自転車に乗るときにヘルメットを着用していますか。



【調査結果の概要】

「着用していない」(69%)、「着用している」(31%)と、着用していない人が上回っている。

Q15. 「Q14」で「着用していない」と回答した方に質問です。ヘルメットを着用しない理由は何ですか。



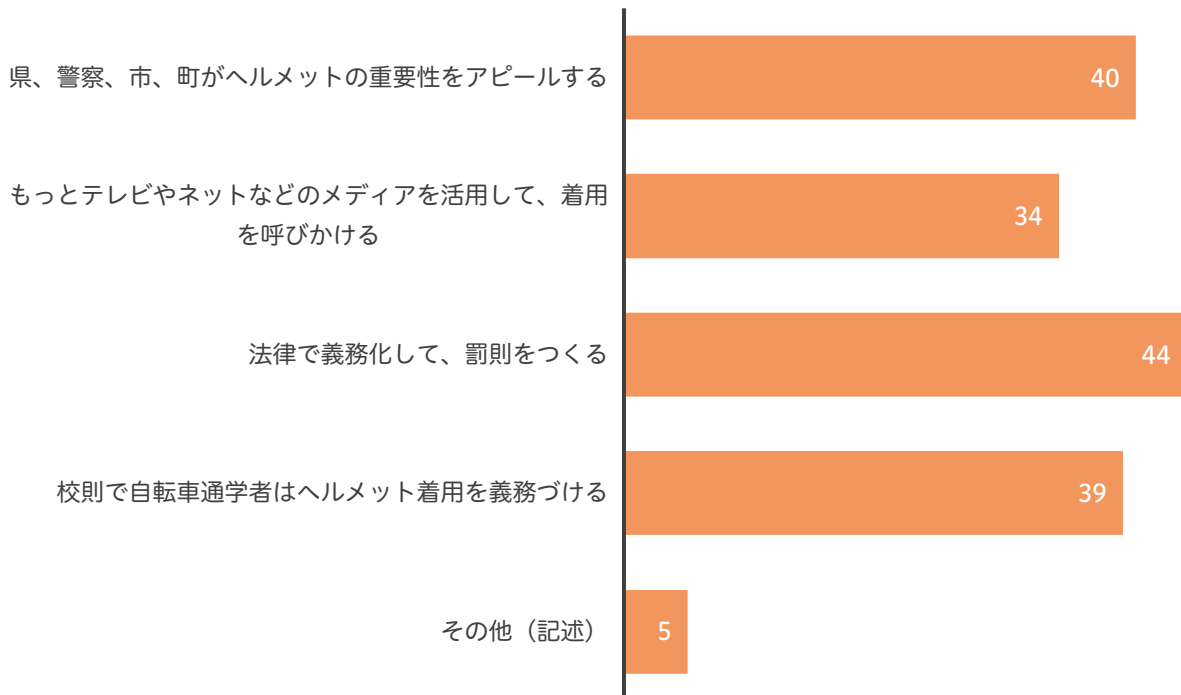
【調査結果の概要】

「法律や条例は知っていたが、努力義務だけだから」(24件)が最も多く、以下、「ヘルメットを持っていないから」(21件)、「格好がよくないから」(13件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 頭がデカくサイズがどこにも無い。
- ・ 長年着けていないから
- ・ 周りの高校生も社会人もみんなつけていないため
- ・ 汗ばむから
- ・ 暑いし重いから

Q16.現在、栃木県の自転車ヘルメット着用率は高いものではありません。そこで、どうすれば、自転車に乗る人のヘルメット着用率が上がると思いますか。【2つまで選んでください】



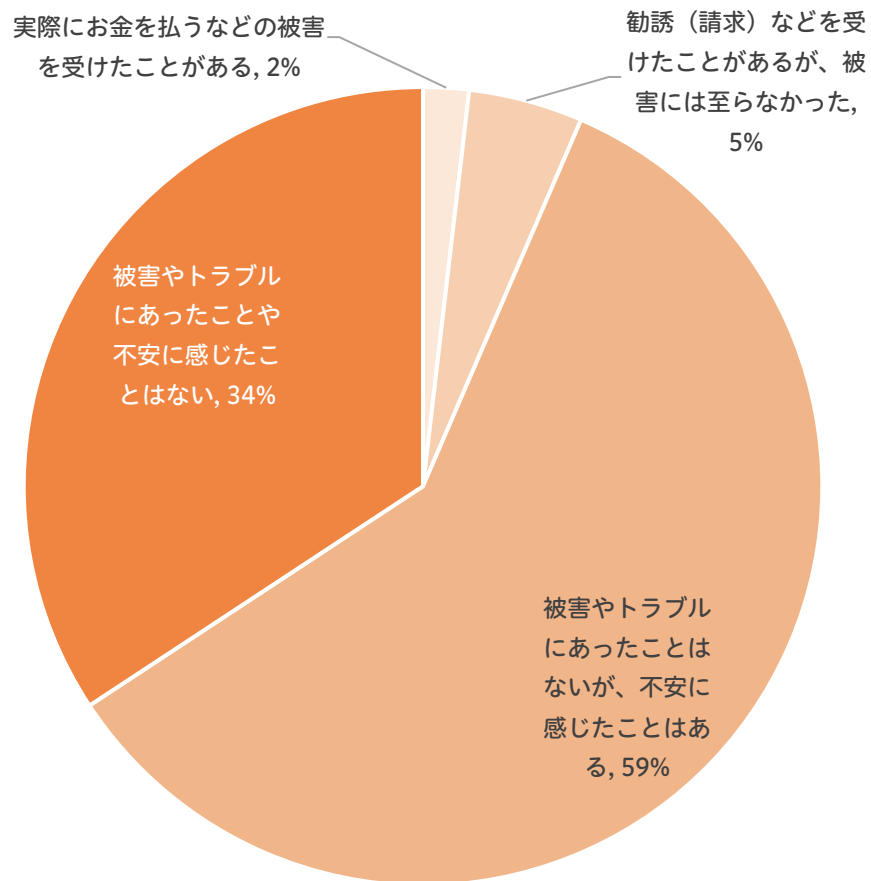
【調査結果の概要】

「法律で義務化して、罰則をつくる」(44件)が最も多く、以下、「県、警察、市、町がヘルメットの重要性をアピールする」(40件)、「校則で自転車通学者はヘルメット着用を義務づける」(39件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 学生ならまだわかるが、大人はかぶらない。
- ・ もっと使いやすいデザイン
- ・ ヘルメットのデザインをもっと考える
- ・ デザインが可愛いものにする。
- ・ 実際に事故にあった方の映像を見せる

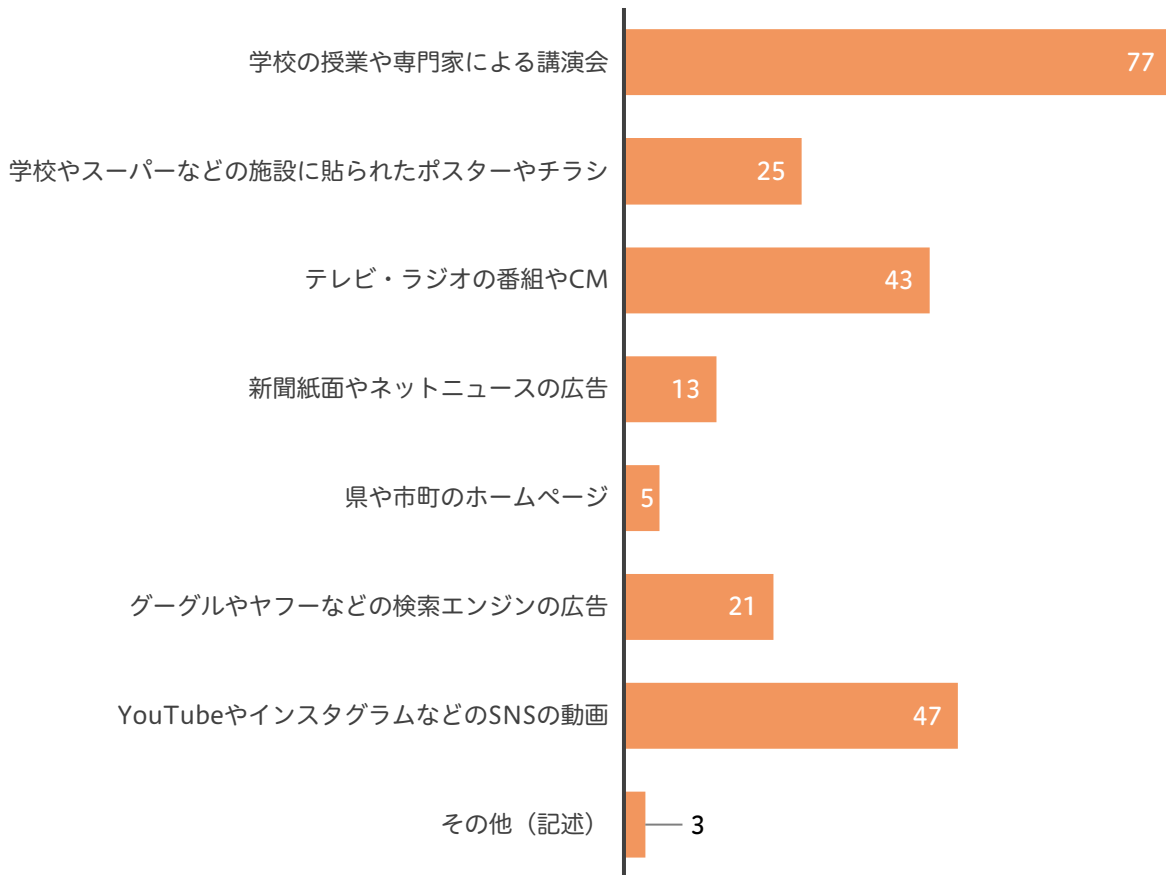
Q17.あなたは、物を買ったりサービスを受けたりする消費行動の際に、トラブルにあったり、あうかもしれないという不安を感じたことはありますか。



【調査結果の概要】

「被害やトラブルにあったことはないが、不安を感じたことはある」(59%)が最も多く、以下、「被害やトラブルにあったことや不安を感じたことはない」(34%)、「勧誘(請求)などを受けたことがあるが、被害には至らなかった」(5%)と続いている。

Q18.あなたは、物を買ったりサービスを受けたりする消費行動でトラブルにあわないための知識や対策を、どのような方法で入手できると良いと思いますか。【3つまで選んでください】



【調査結果の概要】

「学校の授業や専門家による講演会」（77件）が最も多く、以下、「YouTube やインスタグラムなどのSNSなどの動画」（47件）、「テレビ・ラジオの番組やCM」（43件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 自分で気をつける以外無い
- ・ 元々の知識
- ・ チラシだと載せられる情報に限りがあるから、トラブル対策の書籍を作り、市や町の図書館に置くといいと思う。